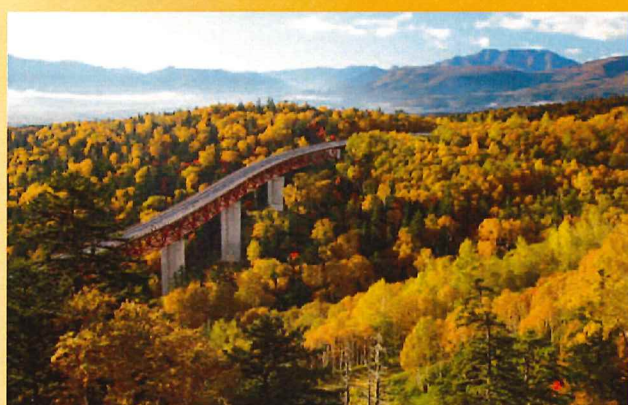
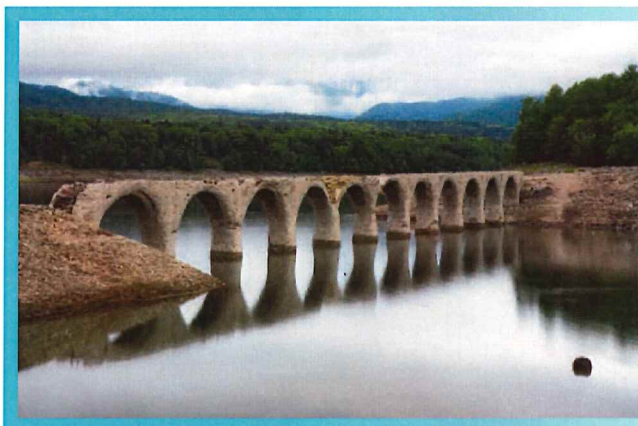


平成30年度版

# 観光の実態と志向

第37回 国民の観光に関する動向調査



公益社団法人 日本観光振興協会  
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

## 1. 調査目的

国民の観光旅行の動向を明らかにし、諸施策を推進するための基礎資料の作成を目的とする。

## 2. 調査項目

- (1) 過去1年間(平成29年4月～平成30年3月：以下同様)の宿泊旅行の概要
- (2) 過去1年間の宿泊観光旅行
- (3) 今後の観光旅行の志向
- (4) その他

## 3. 調査の設計

- (1) 対象地域 全国(47都道府県)
- (2) 調査の対象 インターネットモニター  
\*母集団は、インテージ・ネットモニター
- (3) 対象者条件 15歳以上の男女個人  
\*ただし、マスコミ・広告、新聞・放送業、市場調査の業種従事者は、調査関連業種として除外している。
- (4) 設計標本数 10,000
- (5) 標本抽出方法 都道府県別、性年代別人口構成比に準拠して割付(平成27年度国勢調査結果を使用)
- (6) 調査方法 インターネット調査
- (7) 調査時期 平成30年9月28日～10月5日

## 4. 調査担当

株式会社 インテージリサーチ

## 5. 回収結果

有効回収数 12,305

## 6. 調査対象の特性

		(人数)	(%)
地域	全 体	12,305	100.0
	北海道	495	4.0
	東北	882	7.2
	関東	4,188	34.0
	甲信越	516	4.2
	中部	1,565	12.7
	関西	2,210	18.0
	中国	747	6.1
	四国	382	3.1
九州	1,320	10.7	
都市規模	大都市	3,774	30.7
	中都市	5,647	45.9
	小都市	2,134	17.3
	町村	750	6.1

注1：第9回昭和55年調査までは満18歳以上の男女が調査の対象であったが、第10回昭和57年調査から満15歳以上と対象年齢を3歳下げた。第21回平成13年度調査からは対象者を全国民とした。また、第31回平成23年度調査からは、15歳以上のインターネット・モニターを対象とした。

注2：第18回平成10年度調査までは対象時期が9月～8月であったが、第19回平成12年度からは4月～3月としている。なお、第31回平成23年度からインターネット調査とした。

6. 調査対象の特性(つづき)

		(人数)	(%)
全 体		12,305	100.0
性別	男 性	6,189	50.3
	女 性	6,116	49.7
年 齢	15 ～ 17 歳	310	2.5
	18 ～ 19 歳	478	3.9
	20 ～ 24 歳	632	5.1
	25 ～ 29 歳	850	6.9
	30 ～ 34 歳	736	6.0
	35 ～ 39 歳	884	7.2
	40 ～ 49 歳	2,016	16.4
	50 ～ 59 歳	1,754	14.3
	60 ～ 69 歳	1,868	15.2
	70 歳 以 上	2,777	22.6
同居家族の人数	1 人 (自分のみ)	2,043	16.6
	2 人	4,147	33.7
	3 人	2,809	22.8
	4 人	2,166	17.6
	5 人	755	6.1
	6 人 以 上	385	3.1
同居家族の形態	単 身 世 帯	2,043	16.6
	夫 婦 だ け の 世 帯	3,475	28.2
	夫 婦 と 親 の 世 帯	789	6.4
	夫 婦 と 子 供 の 世 帯	4,161	33.8
	親 と 夫 婦 と 子 供 だ け	689	5.6
	そ の 他	1,148	9.3
世 帯 所 得	200 万 円 未 満	1,401	11.4
	400 万 円 未 満	2,768	22.5
	600 万 円 未 満	2,325	18.9
	800 万 円 未 満	1,363	11.1
	1000 万 円 未 満	789	6.4
	1500 万 円 未 満	592	4.8
	2000 万 円 未 満	124	1.0
	2000 万 円 以 上	71	0.6
	不 明 ・ 答 え た く な い	2,872	23.3

		(人数)	(%)
全 体		12,305	100.0
未 既 婚	未 婚	3,549	28.8
	既 婚 (配 偶 者 あ り)	7,554	61.4
	既 婚 (離 別 ・ 死 別)	1,202	9.8
免 許 保 有	持 っ て い る	9,563	77.7
	持 っ て い な い	2,742	22.3
職 業	農 林 漁 業	64	0.5
	自 営 の 商 工 業	588	4.8
	自 由 業	336	2.7
	管 理 職	595	4.8
	事 務 ・ 技 術 職	2,364	19.2
	労 務 ・ 技 能 職	1,425	11.6
	主 婦 ・ 主 夫	3,430	27.9
	学 生	1,037	8.4
	無 職	2,466	20.0

<「自営の商工業」「管理職」「事務・技術職」「労務・技能職」について>

		(人数)	(%)
全 体		4,972	100.0
勤 務 先 の 休 日 数	8 日 以 上	3,139	63.1
	5 日 ～ 7 日	1,319	26.5
	4 日 以 下	405	8.1
	そ の 他	109	2.2
週 休 曜 日	決 ま っ て い る	3,479	70.0
	決 ま っ て い な い	1,493	30.0
有 給 休 暇 取 得 日 数	5 日 以 下	1,196	24.1
	6 ～ 10 日	1,021	20.5
	11 ～ 15 日	509	10.2
	16 日 以 上	485	9.8
	有 給 休 暇 は と ら な か っ た	707	14.2
	有 給 休 暇 は な い	1,054	21.2

<「就業形態」(主婦・主夫を含む)について>

		(人数)	(%)
全 体		8,402	100.0
就 業 形 態	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	3,457	41.1
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	1,630	19.4
	派 遣 社 員	156	1.9
	契 約 社 員 ・ 嘱 託	419	5.0
	そ の 他	395	4.7
	無 職	2,345	27.9

表 1. 過去 1 年間の実態 — 宿泊観光旅行

項目	宿泊観光旅行の実態	
1) 参加率	49.0%	
2) 参加回数		
全体平均	1.06回	
参加者平均	2.16回	
3) 実施月	8月が 13.0%でピーク	
4) 目的地	県内	10.5%
	県外	87.1%
5) 出発した日	平日	40.3%
	土・日・祝	32.0%
6) 行動 (複数回答)	①自然の風景をみる	40.1%
	②温泉浴	33.5%
	③名所・旧跡をみる	29.7%
7) 主な行動	①温泉浴	20.0%
	②自然の風景をみる	14.6%
	③名所・旧跡をみる	13.5%
8) 同行者	①家族	57.2%
	②友人・知人	22.0%
	③自分ひとり	12.0%
9) 同行人数	①2～3人	58.2%
	②4～5人	18.0%
10) 利用交通機関 (複数回答)	①自家用車	45.8%
	②JR鉄道	32.5%
	③飛行機	13.5%
	④私鉄	12.7%
	⑤路線バス	9.2%
11) 宿泊施設	①ホテル	61.0%
	②旅館	23.4%
12) 宿泊数	平均 1.67泊	
13) 旅行費用		
総費用	50,580円	
宿泊費	18,900円 注)旅行会社の募集团体	
交通費	13,500円 及び「職場、学校」	
土産の費用	4,510円 「地域宗教」の団体	
観光行動費	9,760円 を除く	

表 2. 過去 1 年間の宿泊旅行の実態

旅行の種類	参加率	参加回数 (全体平均)	参加回数 (参加者平均)
全体	63.8%	2.23回	3.50回
観光旅行	49.0%	1.06回	2.16回
出張などの商用	9.5%	0.43回	4.48回
帰省などの私用	18.3%	0.53回	2.90回
兼観光旅行	10.9%	0.22回	2.00回

表 3. 今後 1 年間の宿泊観光旅行の希望

1)参加希望率	77.4%	
2)参加希望回数	2.23回	
3)希望季節	秋 29.9%、春 22.5%	
4)希望宿泊数	2.05泊	
5)希望費用	総費用	45,210円
	1人当り宿泊費	11,420円
6)希望する旅行の種類	①温泉を楽しむ	51.8%
	②食を楽しむ	28.2%
	③季節の花々を楽しむ	28.1%
	④寺社仏閣を楽しむ	25.8%
	④リゾートライフを楽しむ	23.1%

## 2. 平成 30 年度調査のポイント

本調査は、全国の 10,000 人を対象に、平成 29 年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月までの 1 年間）の国内旅行の実態と、今後の希望について調査を行ったものである。この調査は、昭和 39 年から継続して実施しており、国民の観光動向を 50 年以上のロングスパンで比較検証できる調査である。ただし、平成 23 年度の調査から、これまでの訪問留置調査からインターネット調査へと調査手法を変更したため、平成 22 年度以前と平成 23 年度以降のデータとでは単純に比較はできない。

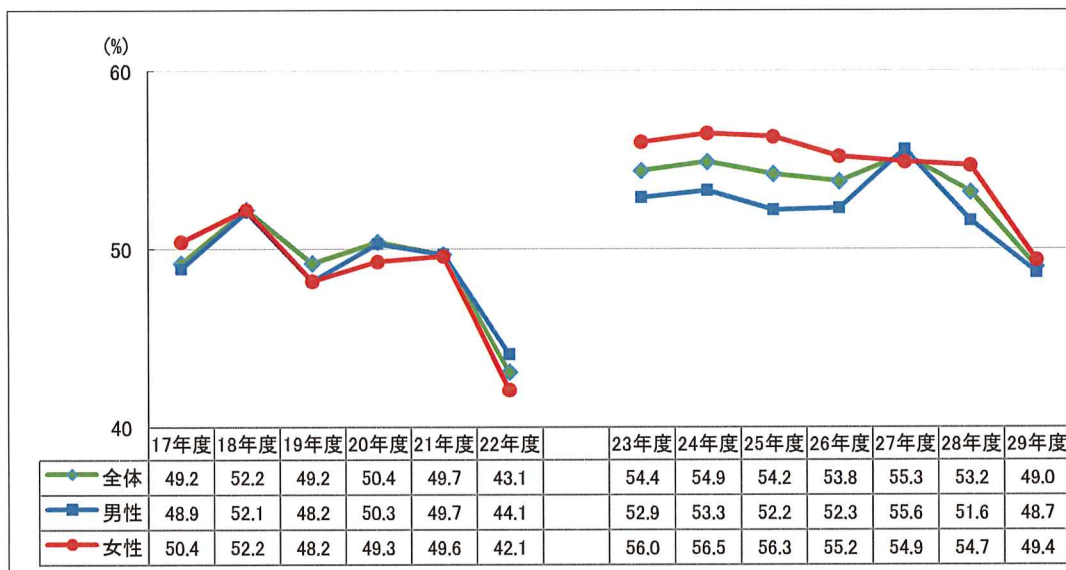
平成 29 年度の宿泊観光旅行は、昨年度の旅行実態よりも参加率が減少し 2 年連続の減となった。

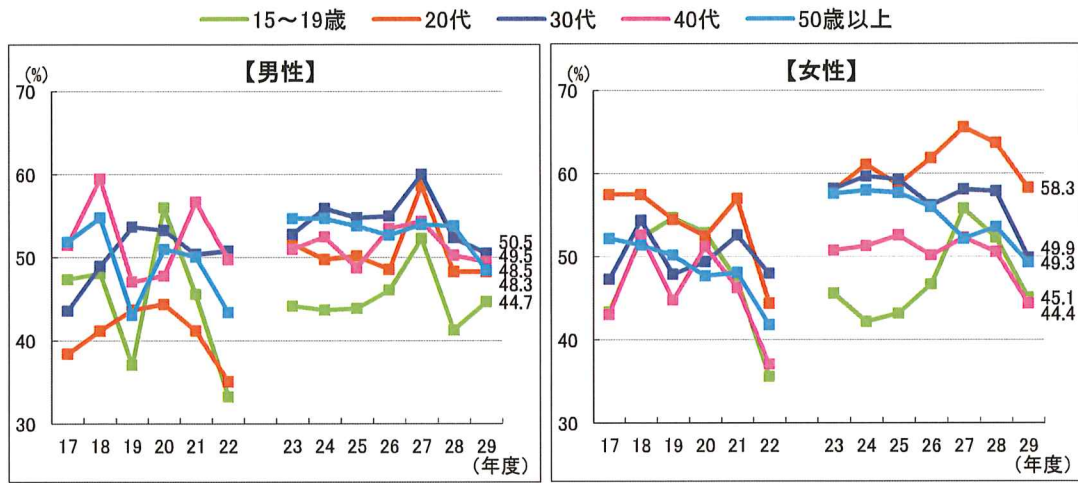
DATA 1

### 1. 宿泊観光旅行の参加率

平成 29 年度における宿泊観光旅行への参加率は 49.0% となり、昨年度に比べ 4.2 ポイントの減少となっている。性別にみると、男性の参加率は昨年度に比べ 2.9 ポイント減の 48.7%、女性の参加率は昨年度に比べ 5.3 ポイント減の 49.4% であった。宿泊観光旅行の参加率は、この 2 年で男女ともに減少傾向となっている。

性・年代別にみると、男性の 20～40 代の参加率は昨年度と概ね同程度、50 歳以上では減少、10 代では上昇し、平成 25 年度と同水準の参加率となっている。女性では各年代ともに昨年度より減少している。

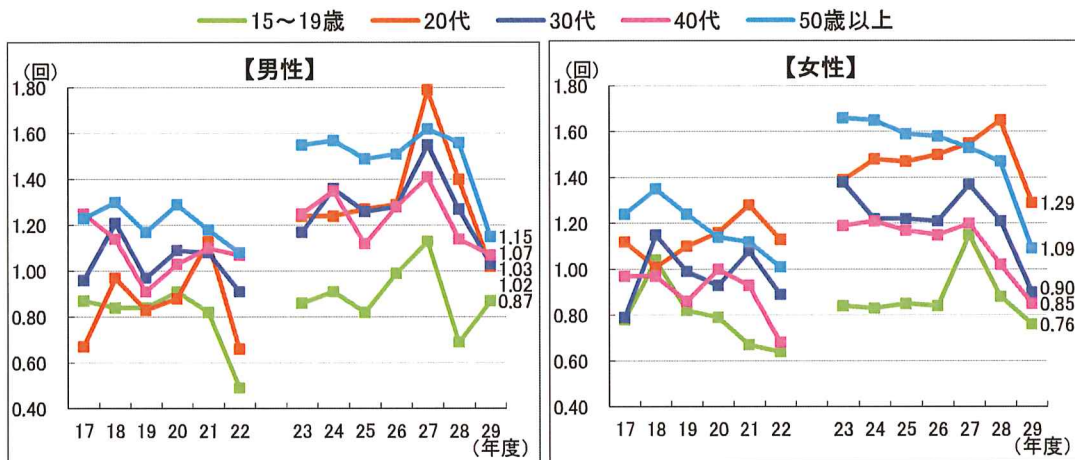
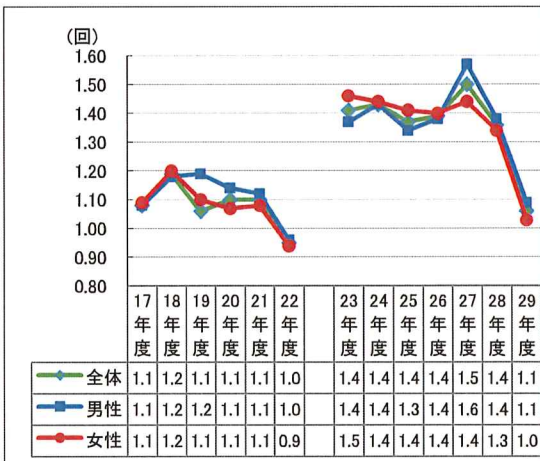




## 2. 宿泊観光旅行の回数

宿泊観光旅行への参加回数は全体で 1.06 回と昨年度に比べ大幅に減少した。男性は 0.29 回、女性は 0.31 回の減少となっている。

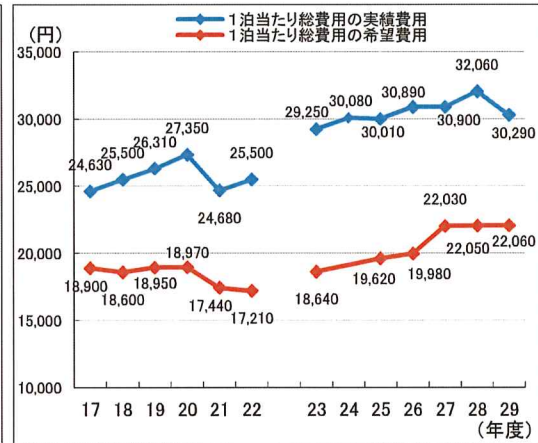
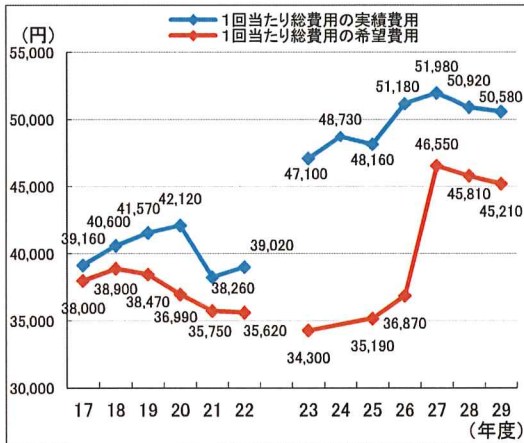
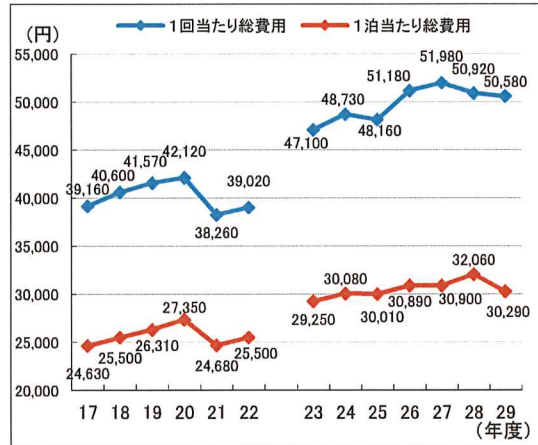
性・年代別では男性の 10 代を除いて昨年度よりも参加回数が減少しており、男女ともに 20 代、30 代、50 代の減少が顕著である。宿泊旅行参加率が最も高い女性 20 代でも参加回数は 1.29 回にとどまっており、昨年度から 0.36 回減少している。



### 3. 旅行費用

宿泊観光旅行における1回当たりの総費用は50,580円で昨年度から340円減少した。1泊当たりの総費用は1,770円の減少である。

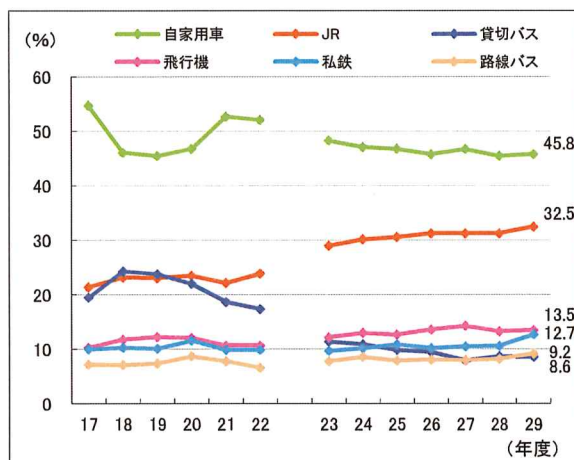
一方、希望費用では、1回当たりの総費用が45,210円と、昨年度から600円減少し、1泊当たり総費用は22,060円と同程度で推移している。



※希望宿泊費については、平成24年度調査のみ調査手法を変更しておりデータ比較が困難なため、掲載をしていない。

### 4. 交通手段

宿泊観光旅行における利用交通手段は、引き続き「自家用車」が45.8%と最も高く、次に「JR」の32.5%、「飛行機」の13.5%と続く。経年的変化でみると、JR、私鉄、路線バスが若干ではあるが増加傾向となっている。それ以外の交通手段については、概ね同水準での推移となっている。







(写真提供：北海道 上士幌町)



公益社団法人 **日本観光振興協会**  
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION